

神津島村の特別支援教育



神津島村教育委員会

神津島村の特別支援教育



～障がいの有無にかかわらず、全ての子供たちの
個性、特性に応じて指導内容・方法を工夫した学習活動を行います～

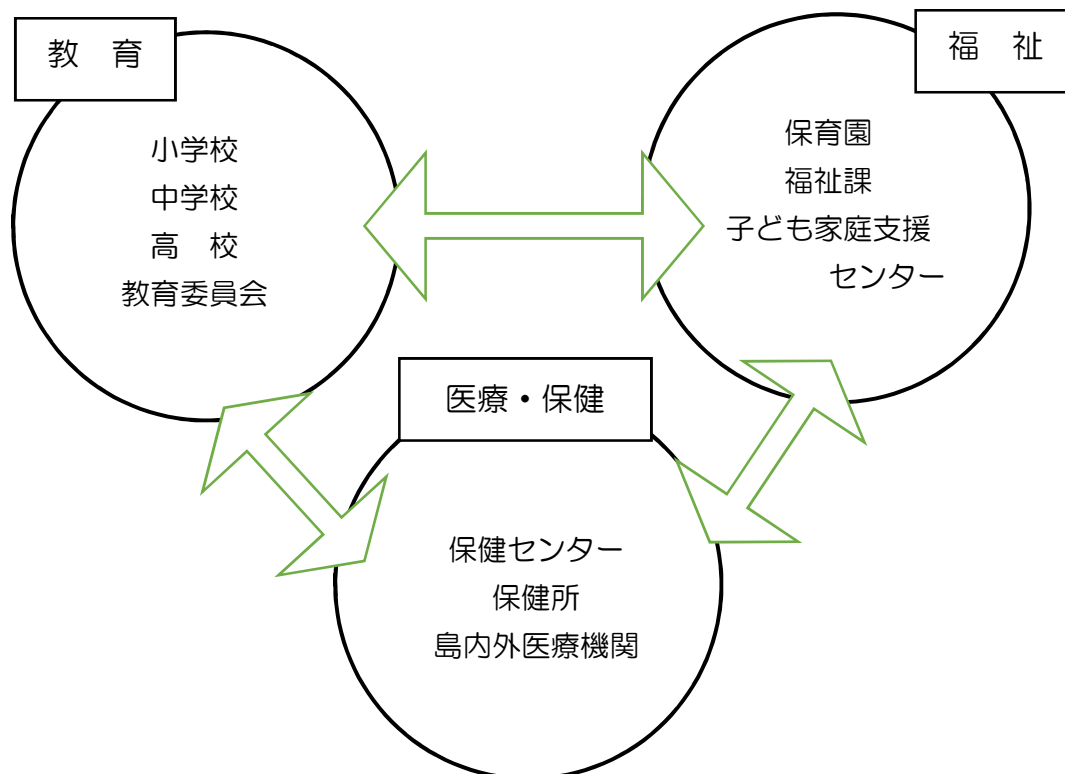
【各学校における取組】

- 通常の学級では、習熟度別少人数指導、複数教員による指導などを取り入れて授業を行います。また、全員の「できた!」「わかった!」を目指し、ねらいを明確にして授業を展開します。
- 児童生徒の様子については、各教員や特別支援教育コーディネーターの気づき、保護者からの相談などに基づいて学校と家庭で情報共有を細やかにを行います。
- 児童生徒本人や保護者にスクールカウンセラーや臨床心理士への相談窓口を設けています。
- その他、園や各校において適切な指導の方法を検討し、園や学校全体で支援します。

☞ 小学校、中学校には「特別支援学級」(固定級)と「特別支援教室」*1)
(旧通級指導教室)が設置されています。

【関係機関との連携】

～児童生徒の特性と成長に応じた支援を連続して実施します～



「特別支援教室」*1) について

神津小学校では「チャレンジ教室」と呼んでいます。

神津中学校は「特別支援教室」とそのままの名称を使用しています。

「特別支援教室」とは？

これまで、通級指導学級の設置校に出向いていくことで指導を受けていた内容を、東京都すべての小中学校で受けられるよう設置された学びの場です。(都内公立小学校は平成30年度までに全校に配置済み、公立中学校は令和3年度までに全校配置となります)

週に1~8時間の間で、個別指導を中心に学びます。特別支援教室での指導の目標が達成されると通常の学級(在籍学級)での学習のみに戻ります。(指導時間数や、在籍期間は個々の実態により異なるため、校内委員会等において専門家の意見や保護者の願いも聞きながら、児童生徒の個別指導計画を決定します。)

どのようなことを学ぶの？

順番に話を聞くなど、ルールを守って集団行動がとれるようになる方法。

姿勢を正して、必要な情報に着目して話が聞けるようになること。

特に中学では、試験について等、自分のペースとスケジュールに合わせて取り組み、学習への見通しが持てること。

特定の学びにくさ(音読、書くこと、計算、計画を立てるなど)がある場合は、自分に合った学習の進め方を習得し、クラスでの学習がスムーズになるような方法。

コミュニケーションの苦手さを減らしていき、相手の気持ちを考えられるようにすること。
中学においては、部活動や地域等での人間関係形成に関することも含めて学ぶ。
学習においては、物語の登場人物の気持ちを考えられるようになることにつながる活動。

特に中学では、自尊感情を高めるとともに、進路決定に向けた自己理解など。



<問合せ先>

- 神津島村特別支援教育推進協議会（教育委員会学校教育係）

電 話 0 4 9 9 2 - 8 - 1 2 2 2

- 神津島村保健センター

電 話 0 4 9 9 2 - 8 - 0 0 1 0

令和元年8月作成